

語ろう市民の思いを! ワークショップ

～大和郡山市をワクワク10万人都市にするために～



突然ですがみなさんに質問です。JR郡山駅すぐ南の踏切を西から東に車で横断するのに何回一旦停止する必要がありますか。答えはなんと4回です。もう一つ質問です。近鉄郡山駅前ロータリーのすぐそばになぜ駅がないのでしょうか。住みよいまちづくりには住民のニーズに合った都市計画の推進は欠かせません。これまで放置されてきた都市計画を強力に推し進めるために、これらの解決策を北門勇気と共に探りましょう。

今回はどうすれば活気あふれる快適で住み心地がよい大和郡山市を実現できるか、元大阪市職員で白川溜池土地改良区連合の前理事長、橋下勝彦さん(76)にお話を聞きました。



きた もん ゆう き
北門 勇氣

PROFILE

■生年月日 昭和55年12月13日(39歳)
■市議会経歴
平成23年4月 大和郡山市議会 初当選
平成27年5月～平成29年5月
大和郡山市議会 副議長
平成29年6月 大和郡山市長選挙 出馬

都市計画が全く進んでいない現状



「行政の施策次第で12万人口都市・橿原市を超えることも可能」と話し合う橋下勝彦さん(左)と北門勇氣

勇氣 現在、大和郡山市は残念ながら人口10万人に達せず、それどころかどんどん人口が減っており、昨年6月の推計人口は8万5000人になってしまいました。この最大の理由はこの20年間、都市計画が全く進んでいないことが挙げられます。特に課題は市の南北を走る国道24号線、藪町線と大和中央道の3本の道路です。これらの道路周辺の開発が全く行われていないのが現状です。このまま放置していいのでしょうか。

橋下 都市ビジョンについては、行政が市民とのコミュニケーションを取りながら10年、20年先を見通した

計画を策定し示すべきです。そうしないと市民にとっての住みよいまちづくりは実現できません。幸い西名阪自動車道に郡山下ツ道ジャンクションができ、今後の土地活用に期待が高まっています。

実は現在、西名阪自動車道の郡山出口のそばの3ヘクタールを大阪の企業が買収し開発のための準備を進めています。この近くは農地のためこの企業と協議をし、農道と企業が買い取った用地を活用して9m道路を建設、将来、この周辺開発もできるようにしてもらうことになりました。農地が将来、開発ができるというモデルケースにしたいと思っています。

地域農業が老齢化、高齢化しており休耕田も増えつつある中で、抜本的な農業政策のあり方も検討していくべきです。特にこの市の南東部では交通の要所でもあることから、今後は商業、工業地域を目指すべきではないでしょうか。

勇氣 例えばイオンモール大和郡山ですが、ここだけで年間約1億5000万円の固定資産税が入ってきます。水道代などを含めるとおよそ2億円の財源確保になります。私はこの交通の要所にぜひともアウトレットモールを誘致したい。税収もそうですが働く場の創出にも大きな効果があり、人口増加にもつながります。

ただ、現状の市街化調整区域ではアウトレットモールは建てられません。本気で開発を進めようと思えば、天理市でも行われているように調整区域の網をはずし商業地域にし施設を誘致、一定期間、固定資産税の減免措置を講じるなど市として大胆な対応が必要ではないでしょうか。

橋下 確かにその通りです。固定資産税は地方税で市の徴収ですので、その活用、運用は市の意思でできます。そのためには大きなビジョンを企業とも共有しその目的達成するまでは何年間か現状維持ないしは大幅な減額措置を講じることは十二分に可能です。

またそうすることによって優良な企業を誘致し市の活性化の一翼を担ってもらう。まさにそれは行政の役割ではないでしょうか。

勇気 そうですね。この国道24号線だけでなく、藪町線、大和中央道周辺の積極的な開発こそ市の財源確保、活性化に欠かせないことがよくわかりました。さらにもう一つ大きな課題に市庁舎の移転新築の問題があります。果たして現在地での建て替えでいいのでしょうか。むしろ将来のまちづくりを視野にリニア中央新幹線の中間駅として有力視されている、JR線と近鉄線が交差する天井町、豊浦町周辺に移転すれば新しい街としての発展も見込まれます。

橋下 そうですね。JRと近鉄が交差するすぐ南側には田中町から杉町、池之内町を走る市道田中線があり、これをしっかりと整備すれば横軸の道路網も確保されます。この場所に集合駅ができればリニア駅の誘致への機運も高まる。駐車場も広く整備でき、ここに市庁舎を移転できれば市全体のまちづくりにも大きな貢献をするのではないかと思うのですが。

勇気 さらには施工がストップしている平端バイパスの整備が早急に望まれています。県中央卸売市場のリニューアルも考えられていることから、奈良県と十分に協力し、ぜひとも早期開通しなければなりません。それによって近鉄平端駅も生き返ってくるのではと思うのですが。

橋下 県中央卸売市場の大改修も行われることは、周辺の交通量も増えることが予想されます。平端バイパスはさらに南下し近鉄橿原線の天理への分岐駅である平端駅の東側を通過する道路で、平端駅周辺の開発にも大きく貢献することも予想されます。平端バイパスの開通は市の南部における開発の大きな施策であり、出来るだけ県と連携を保ちすみやかに実現してほしいものです。



続きはホームページにて掲載しております。QRコードからご覧ください!

活動報告
(11月15日～2月15日)

中国南京衛生学校に3,240枚のマスクを送りました

奈良県商工会議所青年部連合会の会員大会

荒井正吾知事を囲む会に参加させていただきました!

第13回プレイブ杯を開催させていただきました

大和郡山の未来をひらく会からのお知らせ ボランティア募集 月1回の子ども食堂

お手伝いいただくにあたって

食堂開催日には調理スタッフだけでなく、席のご案内やお皿洗い、食事の前後に子どもたちの遊び相手になってくれるスタッフがいるといへん助かります。

お手伝いいただける方は下記のメールアドレス、電話にてお問い合わせください。



場所：西田中町ふれあいセンター
お問い合わせ：y.miraiwohirakukai@gmail.com
080-3843-6876(子ども食堂)

きたもん勇気後援会

<https://ymiraiwohirakukai.wixsite.com/mysite>

大和郡山市横田町47-2
会長 米山 定男